

モリアオガエルとシュレーゲルアオガエルの比較研究

加藤文男

体長差について

本邦産のアオガエル類の中で、最も広く生息するものに、モリアオガエル (*Rhacophorus arboreus*) とシュレーゲルアオガエル (*R. schlegelii*) がある。両種とも体色は鮮緑色の美しいカエルで、樹上生活を営み指先に吸盤がある。特にモリアオガエルは樹上に産卵するという特異な習性を有し、一部で天然記念物に指定されている。

モリアオガエルとシュレーゲルアオガエルは外形が酷似し、岡田(1930)は両者を同一種内の亜種とし、中村、上野(1964)は独立した別種としてとりあつかっている。両種のカエルの比較研究にあたって、今回は2種のアオガエルの体長差について報告する。

採集地は丹生高校付近(地籍、福井県丹生郡朝日町内郡)で、昭和40年春産卵場に来た親ガエルを採捕した。体長は吻端から肛門の所までを測定した。

結果と考察

6月頃池の樹上で産卵するアオガエルは、からだが大形であり、4月頃あぜ土の中へ産卵するアオガエルはからだが小形である。いずれも白色の泡状の卵塊を作つて中に卵をうむが、樹上に産卵する方が卵塊が大きい。中村、上野(1964)によれば、樹上に産卵する方がモリアオガエル (*Rhacophorus arboreus*) であり、田のあぜ土の中へ産卵する方がシュレーゲルアオガエル (*R. schlegelii*) である。

体長の測定結果は表1、に示した通りで、両種のアオガエルの体長とその差を見ることが出来た。すなわち、モリアオガエルは♂48~61mm(平均54.4mm)、♀は69~90mm(平均77.3mm)である。一方、シュレーゲルアオガエルの方は、♂30~35mm(平均32.7mm)、♀は39~46mm(平均41.7mm)である。モリアオガエルとシュレーゲルアオガエルとは♂において、平均約2cmの差、♀において3.5cmの差があり、明瞭な体長の差を認めることが出来る。これらを図示すれば図2の通りである。なお、両種とも♀が♂より大きい。

中村、上野(1964)によれば、モリアオガエルの体長は♂50~70mm、♀60~90mmで、シュレーゲルアオガエルの体長は♂33~40mm、♀45~60mmである。本調査地のアオガエルの体長と比較すると、モリアオガエルについてはあまり違いは見られなかった。しかし、シュレーゲルアオガエルについては、特に♀において違いが見られ当地のものは小形であった。シュレーゲルアオガエルの♀が60mmに達する大きなものは、測定した標本(6個体)以外でも産卵場におい

て一匹も観察することはなかつた。地方によって或は体長に差があるかも知れず今後の課題である。

以上モリアオガエルとシュレーゲルアオガエルは外形が酷似し、形態による類別が困難であるけれども、体長において明瞭な差があり、これが両種の区別点としてあげることはだとうである。

文 献

中村 健児 上野俊一 1963

原色日本両生爬虫類図鑑 保育社

丹生高校生物部 1965

モリアオガエルの研究

(1970.2.28)

丹生高校教諭



図1. シュレーゲルアオガエル (*Rhacophorus schlegelli*)

(モリアオガエルはこれより大形で外形はよく似ている)

表1. モリアオガエルとシュレーゲルアオガエルの体長

種	性	範囲 (mm)	平均 (mm)	個体数
モリアオ ガエル	♂	48~61	54.4	30
	♀	69~90	77.3	6
シュレーゲル アオガエル	♂	30~35	32.7	23
	♀	39~46	41.7	6

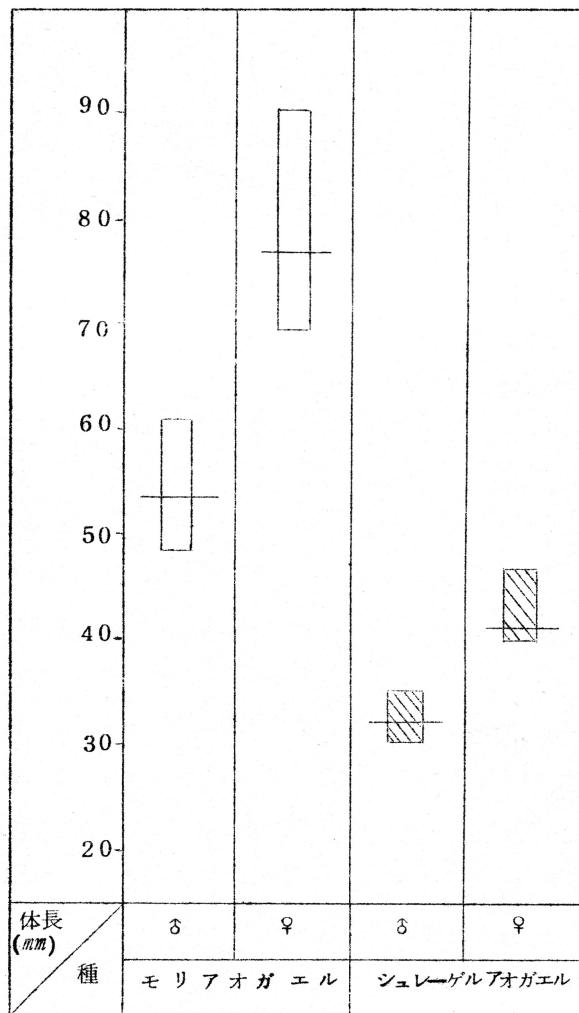


図2 シュレーゲルアオガエルとモリアオガエルの体長比較。—は平均値を示す。